

お知らせ

講習会・セミナー・見学会

JBN国産材利用セミナー

施主に納得していただける木材の基礎知識シリーズ 第2弾 ここまで進んだ 木材の腐朽・劣化・シロアリ対策

昨年度に引きつづき、国産材委員会では、「施主に納得していただける木材の基礎知識」を活動のテーマにしたセミナーを開催します。今回はその第2弾です。

なお、今後のセミナーの企画、テーマ、の参考にさせていただきますので、自らが体験した木材にまつわる失敗談や苦勞話、知りたいこと、などをお寄せください。

日時:7月25日(水) 14:00~17:00
会場:(株)住宅あんしん保証 6F会議室
(東京メトロ銀座線・京橋駅6番出口より徒歩3分)
住所:東京都中央区京橋1-6-1 三井住友海上テプコビル6階
講師:京都大学教授 農学博士 吉村 剛氏
参加費:無料(JBN会員)
主催:JBN工務店サポートセンター・JBN国産材委員会
問い合わせ:担当事務局 坂口

JBNセミナー「木造住宅の耐震診断・補強の現状について」

JBNでは、会員向けに耐震診断・補強施工技術者講習会を開催し、耐震改修施工の推進に努めてきました。しかしながら、診断までで、改修施工につながっていないのが現状です。なぜ、耐震改修が進まないのか、改修施工の実情に詳しい佐久間先生を講師に招き、その対応策などについてセミナー形式の講習会を開催します。あわせて、既存住宅の長期優良住宅の性能向上を目的とした改修施工についても触れていただく予定です。

日時:8月29日(水) 13:00~17:00(予定)
講師:有限会社設計工房佐久間代表取締役 佐久間 順三氏
会場:(株)住宅あんしん保証 6F会議室
(東京メトロ銀座線・京橋駅6番出口より徒歩3分)
住所:東京都中央区京橋1-6-1 三井住友海上テプコビル6階
定員:100名 受講料:無料 対象:JBN会員
主催:JBN工務店サポートセンター・既存改修委員会・いえもりの会
問い合わせ:担当事務局 坂口

2012年改訂版「木造住宅の耐震診断と補強方法講習会」の開催

2012年改訂版が刊行されました。主な改訂内容は、①各診断法における必要な調査内容の明記、②一般診断法の方法1における「その他の耐力」の見直し、③実験結果に基づく耐力要素のデータの充実と見直し、④柱頭・柱脚接合部の低減係数の見直しと不連続による不具合の解消、⑤精密診断法2の保有水平耐力計算による方法等の適用範囲に学校、幼稚園等非住宅を追加、⑥耐震診断の実務に参考となるよう解説を充実し、記号・用語を統一した点、です。

講習会:全国14会場で開催中
主催:一般財団法人日本建築防災協会
受講料(テキスト代、消費税込み):17,500円
申込み等の詳細は、下記でご確認ください。
http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/index.html

各種講習会のお申し込み

工務店サポートセンターHP→
http://www.jbn-support.jp/よりお申し込みください。

JBNカード・ストラップが出来ました。ご活用下さい。1ページの青木理事長の写真でも確認できます。1個、500円(税込)ですが、別途送料が必要です。出来るだけまとめてお求めになるか、講習会会場でお求め下さい。

発行/お問い合わせ
一般社団法人 工務店サポートセンター
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階
TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679
E-mail:jbn@jbn-support.jp homepage: http://www.jbn-support.jp
発行人:藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載



刊行物のご案内

新しい刊行物

住宅改修の工事記録写真・撮影・保管の実務-
先に刊行した「バリアフリーから始める住まいの快適リフォーム」の副産物ともいえるものです。改修工事の経過を証明する写真の添付が求められたのですが、不適切なものも多く、工事が終わった段階では振り直しが出来なかったという苦い経験から本書が作成されました。改修工事を対象に記録写真の撮り方のイロハから、写真の整理・保管までを判りやすく説明した実務書です。
工務店サポートセンター発行、刊行2012年3月、A4・32ページ

木造建築士資格研修テキスト「平成24年度版配本」
「地域型住宅ブランド化」の信頼できる担い手に木造建築士
木造住宅の設計から施工、完成後の点検・維持にいたるまで、多岐にわたる情報の把握、知識・経験にもとづく総合的な能力を備えた人材が求められています。木造住宅の品質の確保、性能の表示、評価、検査、生産履歴管理、保証など、新たな法制度によって、建築士でなければ携われない業務も増えています。本書は「木造住宅に精通したスペシャリスト・木造建築士」をめざす人はもちろん、木造住宅の設計・施工・管理に携わる人たちの学習専門書となっています。平成24年度の資格試験にあわせて改定増補しました。
工務店サポートセンター編、2012年2月20日記本
定価 3,800円(消費税込)、発行・井上書院

バリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム 指針・事例集
工務店サポートセンター・増改築委員会編 A4版・102ページ

地域工務店のための「耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」～木造らしさを生かした耐火性能の高い家づくり～
工務店サポートセンター編 A4版・90ページ

長期ちきゅう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)
工法利用マニュアル・構造の安定
工務店サポートセンター編 A4版・212ページ

同上「手刻みの基本(構造編)」
工務店サポートセンター編 A4版・24ページ

講習会用教材

Ⅱ・Ⅲ地域版全建総連長期優良住宅型式マニュアル解説編
全建総連編 A4版・194ページ
*「長期優良住宅型式認定」講習会用教材(Ⅱ・Ⅲ地域用)

工務店サポートセンター監修・編「木造住宅・工事管理の実務」
彰国社刊、監修 藤澤好一/編者 工務店サポートセンター
*「工事管理の実務」講習会用教材

国産材でマンション・リフォーム
工務店サポートセンター編 A4版・64ページ
*「既存住宅改修」講習会用教材

バリアフリー改修から始める住まいの快適リフォームパンフレット
工務店サポートセンター編 A4版実例入り。
*「既存住宅改修」講習会用教材

長期優良住宅申請マニュアル申請編(新版)
工務店サポートセンター編、刊行2011年3月、A4・115ページ
・長期優良住宅建材マニュアル①(構造編)
構造用面材・木造住宅用接合金物(新版)
・長期優良住宅建材マニュアル②(省エネ編)
断熱材・開口部(新版)
・長期優良住宅型式認定マニュアル(横架材・基礎スパン表)
*以上「型式認定」講習会用教材

JBN版「住まいの管理手帳」戸建て編
講習会用教材DVD、刊行2011年5月
*「住宅履歴」講習会用教材

「長期・ちきゅう住宅」仕様書
工務店サポートセンター発行、刊行2010年3月、A4・118ページ
*同講習会用教材

JBN 会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のために工務店サポートセンターがさまざまな面から支援します。

暮爺記(ぼやき)

地域型住宅ブランド化事業のグループ公募が締め切られた。どんなグループが、どのような住宅を提案したのか、大きな関心が寄せられている。改めて辞書でグループの意味を調べてみた。名詞に限れば、群れ、集団、集まり、連合、型、派などがある。つまり、何かを共有しているか、何か共通する集まりをいうのだが、評価されるのは、その何かだ。目的や手段、連携の強さなど多岐にわたる。スクールにも、群れという意味がある。錬磨、鍛錬しないと一派、流派は築けないということか。党派もグループの一つだが、こちらはなぜかパーティ。米国の民主党はDemocratic Party。わが国の民主党は、後にof Japan、自民党は前にLiberalを付している。ちなみに米国共和党は、Republican Party。共和とは、二人以上が共同合して政務などを行うこと(広辞苑)。共に目先の合意に明け暮れるわが国の政党も群れには違いないが、離合の繰り返し集団。群れを引っ張るリーダーの資質もグループの重要な評価ポイント。(F)

JBN 工務店サポートセンターレポート

Japan Builders Network http://www.jbn-support.jp

JBN会員数(2012年5月末日現在)正会員/2,152社、協力会員/83社、連携団体/18団体 「いえもり・かるて」登録累計数(2012年5月末日現在)/3,900件

- 地域木造住宅生産体制強化部会、地域型住宅ブランド化事業の応募グループ
事業報告・委員会報告
板張り外壁放火構造大臣認定特記仕様書刊行 JBNの会員区分と会費の改定 環境省「家庭(うち)エコ診断」
ご案内

2012 July No.36 7月号
発行人:藤澤好一
©工務店サポートセンター 禁無断転載

地域木造住宅生産体制強化部会への取組み JBN次世代の会へ青木理事長と加古室長が期待を表明

6月20日(木)開催された次世代の会で、工務店サポートセンター・青木宏之理事長と国土交通省住宅局木造住宅振興室・加古喜一郎室長が地域木造住宅生産体制強化部会の枠組について詳しい説明を行い、JBN次世代の会が中心になってこの取組みを担い、推進してほしいと訴えました。

青木理事長は、今日は日本の工務店にとって記念すべき日になる。地域住宅産業界の新しい時代の幕開けとなるからだと述べ、改めてJBNの将来を担う次世代の会の役割と期待するところを準備した資料をもとに、自らが地域木造住宅生産体制強化部会に傾ける熱意と決意を表明しました。

加古室長もこの日のために準備した「JBNと地域木造住宅生産体制強化部会の取組みへの期待」と題した47枚構成のスライドを用いて、集まった約60名の次世代メンバーに国の木造住宅政策とともに室長自身の取組み姿勢を熱を込めて語りました。主な内容は次のとおりです。

- I. 地域型住宅ブランド化事業について
II. 木造住宅の省エネ化推進施策と地域における木造住宅生産体制の強化について
III. 中古住宅流通・リフォーム関連施策について
IV. 応急仮設住宅の建設に関する検証作業について
V. その他の木造住宅関連施策の動向について

これらいずれの施策も地域の生産供給体制がしっかりしないと単なる補助事業で終わってしまう、地域型住宅ブランド化事業で盛り上がった機運を活用しないのはもったいない、「地域型資源活用型産業」のリーダーとしてJBNの力が必要であり、とくに次世代の皆さんに期待するところは大きい、JBNだけではなく強化部会部会長、推進協議会会長でもある青木理事長を支えるとともに、地域住宅産業界とそのネットワークの強化のために業界のリーダー中のリーダーとして力を発揮してほしいと語りかけました。

質疑応答でも、会場からの活発な意見に耳を傾け、丁寧にコメントされていました。意見としては、地域型住宅ブランド化事業への取組みがもたらした効果の状況、住宅省エネ化施策と現場での取組みの現状と課題、地域資源活用産業の現状、建築基準法と住宅施策との整合性など広範にわたりました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

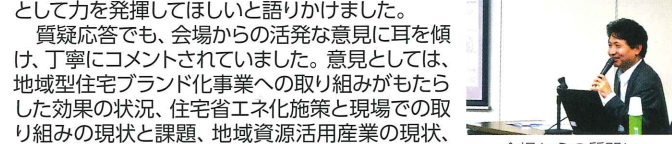
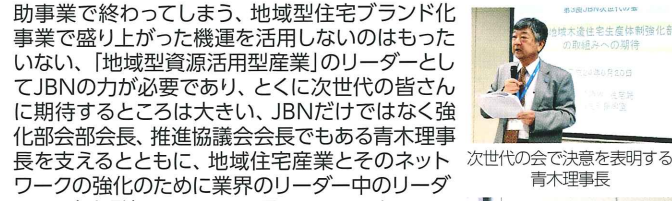
最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。

最後に改めて、青木理事長があいさつに立ち、加古室長が、業界の明日のためにという熱意が伝わったと思う、と同時にそれは部会長の私に向けられた使命と受け止めた、しっかり取り組みたい、と決意を表明しました。



次世代の会で決意を表明する青木理事長
会場からの質問に真剣に応える 加古室長

「住宅省エネ化推進体制強化」の実施枠組み

全国木造住宅生産体制推進協議会 (会長 青木宏之)

【地域木造住宅生産体制強化部会】

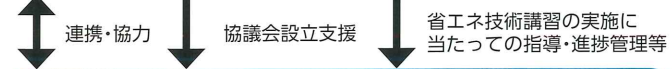
- (1) 地域住宅産業界創成に向けた検討
部会の会員である業界団体等により、「地域住宅産業界」の創成に向けて取り組むべきテーマの設定とテーマ別の対応策等をまとめる。検討に当たっては、学識経験者からの意見、助言等も得る。
【想定されるテーマ例】
・地域に根ざした住宅需要の拡大と地域住宅生産体制の強化
・大工技能者等の激減及び高齢化への対応
・木造伝統構法に関する技術・技能の継承及び発展 等

- (2) (1)に盛り込むテーマのうち先行して取り組む対策
① 地域型住宅のブランド化の推進
各地域で地域型住宅のブランド化等に取り組もうとするグループへの助言や活動支援等を行う。

- ② 住宅省エネ技術の普及推進体制の整備
新築住宅の省エネ基準適合率を2020年までに100%とすることを目指し、全国各地で大工・工務店等を対象とする省エネ技術講習を展開する。

【協力団体】

- (財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター
(一社)すまいづくりまちづくりセンター連合会
(一社)日本サステナブル建築協会



都道府県木造住宅体制推進協議会(仮称)

地域木造住宅生産体制強化部会と連携し、各地域において、地域の住宅関連事業者の技術力向上や、グループ化による市場競争力の向上を図る。
・グループ化促進支援/課題に応じた研修/各種の技術・ノウハウ支援/最新の施策関連情報の提供/事業者間での情報交流 等
◆対象→地域型住宅供給グループ/関連事業者

◇47都道府県のうち設立準備中の9道府県(北海道、栃木、千葉、富山、京都、兵庫、佐賀、長崎、沖縄)以外の都道府県で地域協議会が設立されました。

「地域型住宅ブランド化事業」へ応募したグループと提案内容

本事業のグループ募集は6月8日締め切られました。応募グループ数は592件に達したとことです。この事業への関心の高さがうかがえます。JBN連携団体などを通して、地域型住宅の名称、その特徴とする点、地域材の名称・産地等などを問い合わせておりましたが、その数は33グループでした。その内容を本ページで紹介する予定でしたが、評価への影響を配慮して、評価結果が発表されるまで控えることにしました。ご理解のほどお願い申し上げます。

東日本大震災で被災されたJBN会員、連携団体の関係者の方々には、心よりお見舞いを申し上げます。一般社団法人全国木造建設事業協会(全木協)の活動を支えるとともに関連機関との連絡、調整をはかりながら復興支援に努めてまいります。

活動報告

前月号以降の活動

○第1207回 役員会 6月12日(火) 15:00~17:30
理事3名、執行役員4名、相談役1名、事務局1名

[あいさつ]

・青木理事長

最近は国交省関係のいろいろな委員会、会議でJBNが話題になり、関心も高い。会員が増えている団体としても注目されているが、それだけに気を引き締めて活動していく必要がある。外部関連機関の役職委嘱も、全建連会長から工務店サポートセンター理事長としてくるようになっており、従来どおりの活動はもちろん新たな委嘱も加わって対外活動でも役割が大きくなった。地域型住宅ブランド化事業の一次応募が締め切られたが、相当数の応募があったと聞いている。これがJBN会員、連携団体の増強につながることを期待している。JBNにとっていよいよ重要な局面を迎えるので、体調には充分気をつけて取り組みたい。

・藤澤センター長

先週、耐火性能リーダー講習会を開催した。各団体のリーダーが出席しており、今後の地域での講習会を必要に応じて開催してもらい、技術基盤の普及に当たっていただくことになっている。ここでも地域型住宅ブランド化事業が話題になっており、そのためのサポートにつながることを期待している。しかし、JBN会員の都道府県別の分布をみるとまだら模様であり、担当者を決め、弱体の地域の組織拡大に取り組む必要がある。

[主な報告]

- 1) センターレポート(No.35) 関連、委員会報告
- 2) 会員実数、住宅履歴登録数
- 3) 5月末の財務諸表について
- 4) 地域型住宅ブランド化事業へのJBN関係グループ応募動向の調査
7月号にJBN支援の35団体の動向を紹介する。採択された団体については、その段階で詳細を紹介する。
- 5) ジャパンホームショーへの出展、JBN会員工務店全国大会の開催について
今年は昨年の約3倍のブースを確保し、JBNコーナーとして協力会員との連携の展示とする。
- 6) 全建連総会後の経過報告
先に開催された総会について報告された。
- 7) インスペクターカード登録について
インターネットによる申請手続きに加えて、紙による申請方式を検討することにした。
- 8) 「JBN認定品質住宅、JBN認定品質リフォーム」住あんしん保証適用要領の内容について
JBNと工務店サポートセンターの関係組織図、運用体制図、JBN会則、JBN会員規約などが説明された。

[主な議題]

- 1) JBN協力会員加入の件
申請のあった1社の入会を承認した。
- 2) JBN会員、社員、次世代の会メンバー、協力会員の増強活動の件
センターレポートNo.35に掲載されている都道府県別JBN会員数でJBN会員が20社以下、社員不在、次世代の不在県(オレンジ色)については、重点的に増強のための活動が必要。入会のメリットについて資料などを準備し、十分な説明体制を整える。
- 3) 次世代の会の位置づけ、支援体制について
今後は次世代が中心の活動になるので最低各県3名を目標にして増強をはかる。
- 4) JBN委員会活動の監視、支援体制について
長森執行役員から各委員長に対して、JBN会員に対する支援につながる活動が中心となるよう要請。これを受け環境委員会では、会員向けのセミナーを計画中。
- 5) 地域木造住宅生産体制推進協議会の発足について
構想全般について理事長が説明、積極的な参画方針を確認した。
- 6) 社員総会について
次回役員会と同日開催とした。

次回役員会 7月10日(火) 13:00 ~ 15:00
TKP東京駅ビジネスセンター1号館

青木理事長の動き

5月16日(水)~6月14日(木)

5月

- ・16日(水) 安井昇氏と省令準耐火打合せ
- ・18日(金) 会計事務所打合せ・玉置幹事同席
- ・22日(火) 地域木造住宅生産体制強化部会の件で木活協理事会出席、理事に就任
- ・24日(木) 住宅新聞・中国木材堀川社長と対談、LIXIL副社長・宮崎県住宅課長来所

- ・25日(金) BL・リビングアメニティ合同懇親会出席、センター長も
- ・29日(火) 現代計画今井氏打合せ
- ・30日(水) 環境委員会、同懇親会出席、センター長・長森執行役員も
- ・31日(木) 環境省・家庭エコ診断補助事業採択発表会で副大臣らに報告、小山副委員長も

6月

- ・1日(金) 中澤建販 中澤社長来所
- ・4日(月) 埼玉いえまち再生会議出席
- ・5日(火) 能率協会打合せ・既存改修委員会出席
- ・6日(水) マーケット委員会・次世代正副打合せ、センター長も
- ・7日(木) 住宅保証機構 羽生社長・大阪常務・河村部長来所
- ・9日(土) コモダ建総40周年社長交代式典出席
- ・12日(火) 創樹社取材、JBN役員会
- ・13日(水) 木活協地域木造住宅生産体制強化部会出席
- ・14日(火) 能率協会打合せ、BL評議委員会出席

委員会・WG報告

●活動報告 ○活動予定

次世代の会

●第1206回 6月20日(水) 13:30~17:00

- (一財)経済調査会 4階会議室
- 1.[ライターから見た工務店]
- 2.[工務店の活性化と地域木造住宅生産体制推進協議会について]

○第1207回 7月17日(火) 13:30~17:00

工務店の活性化と地域木造住宅生産体制強化について、他

大型木造研究委員会

●第1202回 7月2日(月) 15:00~17:00

- 住宅あんしん会議室
- 1.アンケート集計結果について
- 2.モデルプランについて
- 3.資料収集作業について

既存改修委員会

●第1206回 6月5日(火) 15:00~17:00

- JBN工務店サポートセンター会議室
- 1) 活動計画とWG体制について

○第1207回7月3日(火) 15:00~

国産材委員会

●第1203回 5月24日(木) 12:00~13:30

- 住宅あんしん保証会議室
- 第2回目研修会(7月25日開催予定)
- 第3回・4回目研修会について
- 今後の委員会取組方向性について

○第1204回 7月25日(水) 12:00~13:30

環境委員会

●第1203回 5月30日(水) 14:00~18:00

- 東京八重洲ホール
- 1) 各社からの活動報告(住宅のゼロエネルギー化推進事業、認定低炭素住宅制度について情報交換)
- 2) 学校ゼロエネルギー化推進方策検討委員会について(現代計画 加来氏)
- 3) 環境省うちエコ診断事業中間報告と24年度事業への取組について
・うちエコ診断 環境省 地球温暖化対策課 杉本氏
- 4) 「国交省の住宅にかかる省エネ政策全般の最新情報」IBEC 由本部長]

○第1204回 7月25日(水) 14時~

○第1205回 9月26日(水)北海道 北総研の視察を予定

マーケット委員会

●マーケット委員会 6月6日(水) 16:30~17:30

- 1) 移住・住みかえ支援機構の活用について
- 2) 瑕疵保険法人との団体認定について

ジャパンホームショー実行委員会

●第1201回 6月6日(水) 17:00~19:30

- JBN会議室
- 1) JBNコーナーの出展方針について

○第1202回 7月17日(火) 10:00

JBN会議室

JBN全国大会実行委員会

●第1201回 6月6日(水) 17:00~19:30

- JBN会議室
- 1) JHSとの同時開催と内容

○第1202回 7月17日(火) 10:00

JBN会議室

板張り外壁放火構造大臣認定特記仕様と設計・施工チェックシート刊行

木造軸組工法における木材を用いた外壁の防火構造の工務店サポートセンター特記仕様書と設計・施工チェックシートが利用できるようになりました。

木造軸組工法における木材を用いた外壁の防火構造工務店サポートセンター仕様(国土交通大臣認定)は、次の手順にそってご利用ください。

- ①利用講習会を受講し、登録管理者番号を申請、取得してください。申請は、JBNのHP「JBNインスペクションシステム」からお願いします。本年、2月に受講された方の申請も受け付けます。
- ②特記仕様書と設計・施工チェックシートをHPからダウンロードしてください。ダウンロードは利用物件ごとに行ってください。その際、JBN会員登録承認番号と登録管理者番号が必要になります。
- ③ダウンロードと同時に仕様書承認番号が発行されます。発行された仕様書承認番号を特記仕様書表紙の所定欄に記入してください。
- ④設計・施工指針および特記仕様書、設計・施工チェックシートにしたがって利用する仕様を決定し、該当する大臣認定番号を特記仕様書表紙の所定欄に記入してください。あわせて、その他所定欄に必要事項を記入し、本仕様の利用にあたっての誓約事項の記述内容をご確認ください。
- ⑤設計・施工チェックシートにもとづく管理と記入は、当該登録管理者が行ってください。
- ⑥建物の完成、引き渡し後は、速やかに設計・施工チェックシートを含む住宅履歴情報を「いえもり・かるて」に登録してください。

「耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」連携団体等が開催する講習会について

6月中旬以降、上記リーダー講習会を受講し、JBNインスペクター登録管理者として登録された方を講師に、連携団体等が随時、講習会を開催することとしています。受講者が10名程度見込まれる連携団体では、講師、会場ならびに講習会費などを設定し、開催を呼びかけていただきます。受講を希望される方は、所属団体にお問合せください。講習会費は連携団体により異なります。

なお、講習会で使用するテキストは、受講者数に応じて一部3,000円で頒布します。また、別途インスペクターカード発行料3,000円(更新1,500円)が必要です。

問い合わせ:事務局 島田・坂口

環境省「家庭(うち)エコ診断」にJBNが採択

平成24年度「家庭(うち)エコ診断」試行事業者の公募が行われ、工務店業界としてJBNが、他にLIXIL、TOTOら全10社が採択されました。

5月31日(木)16:00 環境省会議室において、採択された試行実施事業者によるキックオフ・ミーティングが開催され、事業者を代表して青木理事長がJBNの事業内容を発表しました。出席した横光環境副大臣は模擬診断を披露しました。

この事業は国の地球温暖化対策の「新成長戦略」として位置付けられ、「環境コンシェルジュ制度」の中核となるのが「家庭(うち)エコ診断」で、平成23年度から実施されています。

地域工務店は地域の気候特性やOB施主のライフスタイルを熟知しており、この制度の普及役として大きな期待が寄せられています。JBNでは、全国500世帯のエネルギー利用状況を実施し、アドバイスを行うとともに、エコリフォーム事業の推進を図ります。

JBNの事業として、平成24年度は試験的に環境委員会・次世代の会を中心に有志工務店35社にて実施し、来年度にはJBN会員に広く希望を募り、全国的な事業実施を図る予定ですので積極的に参加をお願いします。(環境委員会副委員長・小山貴史)

JBNの会員区分と会費の改定

新会費は、2012年5月1日入会から適用されています。JBNの更なる発展と支援強化のため、ご理解とご協力をお願いします。

JBN正会員のご登録

正会員は、連携団体に所属する、またはJBN(現在は任意団体)に直接所属する、の2タイプがあります。

登録のお申込みは、「JBN会員登録申込書」(<http://www.jbn-support.jp>からダウンロードできます)に必要事項をご記入の上、FAXにて工務店サポートセンターまでご提出ください。

JBN連携団体のご登録

この4月から、JBN会員が所属する団体は、これまでの全建連・会員団体も含めて「JBN連携団体」と呼ぶこととし、登録をお願いしております。

下記のグループが、連携団体としてご登録いただきました。

[6月登録集計中]

[5月登録9団体]

一般社団法人 山口県ビルダーズネットワーク/徳島県西部建築協会/一般社団法人 高知県中小建築業協会/沖縄木造住宅協同組合/NPO法人 環境共棲住宅「地球の会」/九州家づくりの会/株式会社 エ・ピー・ジャパン/九州家づくりの会/一般社団法人 埼玉県木材協会

[4月登録9団体]

いえもりの会 東北支部/いえもりの会東北 北東北ブロック/(仮) 埼玉県木造住宅協会/神奈川県建設労働組合連合会/一般社団法人 静岡木の家ネットワーク/ぎふの木住まい協議会/滋賀県木造住宅協会/一般社団法人 近畿木造住宅協会/一般社団法人 福岡県木造住宅協会/一般社団法人 東海木造住宅協会

会員区分 会員種別 (所属区分)	支援内容 ¹⁾					年会費
	①	②	③	④	⑤	
正会員 (連携団体所属) (直接所属)	●	●	●	●	●	24,000円 60,000円
設計事務所会員 (連携団体所属) (直接所属)	●	●	●	●	-	24,000円 60,000円
情報会員 (連携団体所属)	●	-	-	-	-	24,000円
協力会員 (年商5億円未満) (年商5億円以上)	●	●	●	-	-	60,000円 2口以上 ²⁾
支援会員 (公的機関・団体)	●	-	●	-	-	60,000円
JBN連携団体 ¹⁾	■	■	■	■	■	30,000円

新しい会員区分と年会費一覧

*1) 連携団体の年会費は団体登録料。なお、これまでの会員団体は「JBN連携団体」と呼び替えることになりました。

*2) 1口=60,000円、2口以上をお願いしています。

環境省(お知らせ)抜粋)

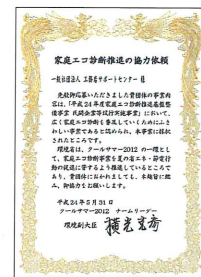
平成24年度「家庭エコ診断」事業における民間試行事業者の採択及び地域における診断募集の開始について

環境省のプロジェクト「クールサマー2012」の一環として進めている「家庭エコ診断」事業において、家庭エコ診断を試行的に実施する民間事業者を採択するとともに、地方公共団体と連携して行う地域単位での家庭エコ診断の受診家庭の募集を開始しますので、お知らせします。

詳細は環境省・報道発表資料をご覧ください。
<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15298>



環境副大臣らに説明する青木理事長



協力依頼状